

道言協通信

HPが更新されたよ
みんな集まれ～！



発行 北海道言語障害児教育研究協議会
事務局 札幌市立青葉小学校
〒004-0021

札幌市厚別区青葉町6丁目2-2 4

TEL011-895-9687 FAX011-891-0491

完全WEB化第1号！

第一回理事会研修会の報告

広報部 通信係

日時 2014年5月10日（土）：午前10時～午後4時

会場 札幌市立青葉小学校

出席者 会長 羽川 希世志

副会長 中井早江子

理事 佐藤光博（渡島檜山） 長野雪（日高胆振） 秦裕美（石狩）

田畑牧子（後志） 石川早苗（札幌） 加藤綾（空知）

佐藤則子（十勝） 鈴木敦子（釧路根室） 安彦修（上川）

沢口眞裕美（留萌宗谷） 高川康（オホーツク）

研究部…尾久邦彦・河内一恵 ／組織部…泉野泰人・下岡直正

庶務部…安達陽子・河野里奈 ／広報部…小林理恵子・武田真樹（代理）

事務局長…三坂烈慎 ／事務局次長…一條くに子・松澤史子・濱崎健

事務局員…平山明香・前田亜紀子・

☆敬称略

司会進行：田畑牧子（小樽市立潮見台小学校） 佐藤光博（函館市立中央小学校）



道言協会長の羽川希世志先生（札幌市立青葉小学校校長）からご挨拶をいただき、「全国の通級児の数が過去最高になり、文部科学省も『通級指導の充実』を方針に打ち出している。その中で、道言協が今まで積み重ねてきた実績や今後の運営が、通級指導の重要性に対する認識に繋がると考える。また、北海道教育委員会や各市町村の教育委員会等と情報を共有し、通級指導教室における教育についての理解を行政に広げる必要がある」というお話があった。さらに、道言協の今年度の課題として「①渡島・函館大会の準備作業（教育委員会との連携を強めた大会作り）②次年度の親の会との共催の札幌大会に向けた、ことばを育てる親の会との一層の連携 ③新研究主題の決定 ④専門性を高めるための研修機会の確保」の4点があげられた。

羽川会長から役員の委嘱がなされ、新道言協副会長の中井早江子先生（札幌市立南月寒小学校校長）からは、「日常の指導に加えて校内業務もこなしながらの道言協の活動は大変だと思うが、指導の充実のために力を尽くして欲しい」とのご挨拶をいただいた。

運営委員会の業務分担が確認され、午前中は2014年度総会議案について、午後からは第47回渡島・函館大会の準備状況の報告や全体会の概要、研究主題等について審議が行われた。

続いて地域に根ざした教室作りの取り組みについて各ブロックの現状を交流し、今後の取り組みを確認した。全道的に通級担当者の入れ替わりが激しく、各ブロックで経験の浅い担当者に向けた研修を工夫している等の報告があった。

わからないことだらけで
不安がいっぱい！



身近な道言協の先輩に

色々聞いてみよう！

…君、新人の割に貫禄あるのね…



うし君は
貫禄が無さ過ぎ…

< 議 事 >

1. 役員改選と委嘱について

- ・事務局の提案通りに承認された（P 8に役員名簿を掲載）
- ・羽川希世志会長から、理事、部長、副部長、部員、事務局長、事務局次長、事務局員が委嘱された。

2. 2013年度総会議案について

※以下の意見や質疑、説明等を踏まえ、各号の議案が提案通り承認された。

<第1号議案（2013年度事業報告）>

提案通り承認された

<第2号議案（決算報告・監査報告）>

提案通り承認された

<第3号議案（2014年度事業計画）>

以下の審議を経て承認された



上昇気流に乗っていこう！

◆研究部の計画について

- ・研修係から、第111回言語臨床研修会（2014年9月12日・函館大会の一日目午前）は、会場（ロワジュールホテル函館）費が高いため、参加費を1,800円に設定するという説明があった。
- ・第112回言語臨床研修会は、昨年度より希望が出ていた日高・胆振ブロックで2015年1月14日に開催する予定。網走市立中央小学校の高川康先生を講師に、構音障害に関する事例研究を行う。

◇◇言語臨床研修会の詳細については、通信p 6～の臨床研案内とHPの研修会情報をご覧ください◇◇

◆組織部の計画について

- ・調査係より「実態調査においてHPやメールを計画的に活用することで、会員の回答の手間や係の業務内容の軽減を図ることを検討している」との説明があった。詳細は第二回理事会で提案される。
- ・集会係より「前日集会の参加者が減少しているが、フランクに話ができる場として参加者からは好評であるので、今後も継続していきたい。今年度は軽食に加えてアルコール類も用意する予定である」との説明と参加への呼びかけがあった。
- ・全体係より、『函館大会の全体会は、道言協事務局長経験者の、池田寛先生（元札幌市立中央小学校教諭。現在は個人会員）と竹森俊之先生（札幌市立中央小学校教諭）をシンポジストに迎え、「地域・ブロックの教室同士の連携について」をテーマにシンポジウム形式で行いたい』という提案があった。実態調査資料「通級指導教室・特別支援学級の運営上の課題」から見える課題と、各ブロックからあげられた現場の声を中心テーマとした構成になる予定。

◆広報部の計画について

- ・「文書の電子化に伴い、A4ネットの扱いはどうなるのか」という質問に対して、係から「会員発信の会員向け文書もHP上への掲載となる。事前に事務局の許可を得て掲載される。希望があれば、事務局へ連絡を」との回答があった。
- ・「HPへの掲載のみの文書が増えたことによって、更新を見逃してしまうのではないかという不安がある。HPを更新した旨の何らかのアナウンスが欲しい」という要望が出された。これに対して係からは、「第一回発送で各教室に送付されたHP更新予定表を活用して欲しい」という説明があった。その上で、今年度はHPへの完全移行元年であり、定期的にHPをチェックすることに不慣れな会員が多数いることも予想されるため、HP更新時期に係から各ブロックの理事宛にFAXを送信し、今年度は各理事からブロック内の教室や会員にHPをチェックするよう周知する体制を取ることとなった。
- ・HPに関して係から、「HPの閲覧数が増え、会員に根付いてきていると感じる。会員の要望を取り入れて、道言協の概要に関する記事や基礎基本に関する記事を掲載した。今後も会員からの要望を取り入れながら、HPを充実させていきたい」との説明があった。

<第4号議案（2014年度予算案）>

提案通り承認された



3. 第47回渡島・函館大会の概要について

- ・第47回北海道言語障害児教育研究大会は2014年9月12日（金）～9月13日（土）（※前日集会9月11日）に、一日目はロワジールホテル函館、二日目は函館市立中部小学校を会場に開催される。参加者は220名を見込んでいます。
- ・開催地から、「行政の方々にも分科会に参加していただき、ことばの教室の実践や運営などをより深く知ってもらい、今後のより良い教育の方向性を共に考える手立ての一つとしたい」という提案があった。理事からは「理解を得るために行政の方に参加していただくのはとても良いことだと思う」という賛同意見が出された。道言協から道教委に依頼する（2～3人程度）予定で、参加の仕方などの詳細は今後検討される。行政からの参加者があっても、「発表者を大切にする」という分科会の理念は変わらないことが確認された。
- ・発表本数は13本になる見込み。
- ・大会講師は伊藤伸二先生（大阪教育大学非常勤講師・日本吃音臨床研究会会長）を予定している。



大会シンボルマークは、北斗市上磯小のことばの教室の通級児のデザイン（北海道新幹線とイカ）をモチーフにして作成されました。

※2015年度の第48回全道大会は、2015年10月10日（土）～11日（日）、札幌市を会場に、道親の会との共催で開催される。

※2016年度の第49回全道大会は、旭川市を会場に行われることが内定している。

行政の方の参加を提案するなど、大会を単発のものに終わらせないで、今後に繋げていこうという開催地の方々の思いが伝わってくるよね！レッツゴー渡島・函館大会！

この帽子
イカすでしょ！



子どもたちが、
考えてくれたの？
すごい！

4. 新研究主題について

4月9日付けで発送された「新研究主題についての提案」をもとに、事務局より今までの経過説明があった。

◆新研究主題（改定案）

「ことばを支える『心の育ち』を大切にしたい支援のあり方を考える」

◇研究の柱（案）

- | | |
|-------------------------------------|-----------|
| 1 その子どもにとっての問題をどのようにおさえるか。 | →子どもの実態把握 |
| 2 子どもの育ちを振り返り、その中で問題の発生と経過をどうとらえるか。 | →子ども理解の仮説 |
| 3 子どもにとっての必要な育ちとは何か。どのようにかわり支援するか。 | →支援の計画と実際 |
| 4 支援の経過をどのように振り返り、関係者と情報共有するか。 | →支援の省察と共有 |

各理事からは、「『心の育ち』をどうとらえるかが難しい。尺度が無いので評価しにくい」「育ちとは自発的なものであり、指導との兼ね合いはどうとらえるか？」「研究を進めていく中で『心』の意味をとらえていけばいいのではないか」「柱の中の『問題』の押さえは？『実態』とか『経過』等の表現の方が良いのでは」「新研究主題は、わかりやすく具体的に、日常の指導につながるような形で発信して欲しい」等の意見が出された。

「時間をかけて見直しをしたのがわかる改定案だと思う」「全体的にわかりやすくなった」という意見が大半を占め、まだ全体で話し合っていないブロックでも、会員に図って全体のものにしていきたいという声が聞かれた。

事務局からは、「『心』『問題』など文言のとらえ方が各自違う。できるだけみんながわかりやすい、共通のことばにしていきたい。文言のとらえについては、研究を進める中ではっきりしていく側面もあると思う。現段階では、現場に投げかけてリアクションを待っている段階。研究主題は現場から作っていくべきもの。これからもどんどん声を寄せて欲しい」という説明があり、「できれば、渡島・函館大会までに説明資料を作成し、札幌大会から新研究主題で研究を進めたい」という見通しが示された。



心がことばを生み出すのさ〜♪

心が無いことばなんて
ただの記号なのさ〜♪



5. 地域に根ざした教室作りの取り組みについて

各ブロックの実情に関して情報交流を行った。

担当者の半数近くが2～3年で交替するブロック、経験年数4年以下の担当者が7割を占めるブロックなど、短期間で担当者が交替し経験の積み上げが難しいことが、全道的な課題になっていることが浮き彫りになった。そんな中、ブロック内の研修に基礎講座を設けたり、年齢構成に配慮して研修グループを構成したり、言難ABCへの旅費を援助しているという報告があった。年々、研修会への参加が難しくなっている現状の中で、経験の浅い担当者に対する支援を積極的に行おうとする各ブロック・各会員の熱意が感じられた。

通級担当者が長く言語難聴指導にかかわることができるような体制を要望していくとともに、誰が担当しても指導できるような引き継ぎ方を模索していく必要があるという声も出された。

また、難聴学級が新設されたことにより、地域の聾学校とパートナーティーチャー制度を使った新たな繋がりができたという報告もあった。

道言協への要望として、「親の会と連携して言語難聴教育専門の教員養成の場を確保して欲しい」「経験の浅い担当者向けのパンフレットを作成して欲しい」という声が上がった。事務局からは、「教員養成に関しては、今後、親の会と連携して動いていく方向性も考えられる」「全国的に経験の浅い担当者が増加している。全難言主催の研修『はじめのいっぽ』も定員オーバーになっていて、今年度から言難ABCで道外からの希望者も受け入れることになった。経験の浅い担当者向けに、道言協HPに『道言協の基礎基本』という文書をアップしているので、是非活用して欲しい。今後、経験が浅い担当者向けのパンフレット作成も考えているので、要望があれば事務局に伝えて欲しい」という回答があった。

世代交代、担当者の入れ替わり、経験の浅い担当者の増加という時代の波の中で、パンフレットや研修はもちろん、長年、道言協が大切にしてきた、地域に根ざした人と人との繋がりが、益々重要性を増していると感じる情報交流となった。

「ニュース 第2号」をご覧ください。

組織部 情報係

第2号をアップロードしました。

掲載内容等についてご要望があれば、係までご連絡下さい。



情報係 竹森俊之（札幌市立中央小学校）

会費納入についてのお願い



会費のお支払いについてわからないことがあって…

ここをよく読めば、会費納入についてわかりますよ！
後で慌てないように、早めのケアが大切です！



会費の納入にあたっては、いつもご協力をいただきありがとうございます。

☆会費は **1名分 4000円** です

「教室会員調査」に 会員と記入された方は、管理職も含めて、全員、会費を納入してください。

◆ 納入方法は銀行振込、郵便振替または、全道大会（会費納入ブースを設置いたします）のいずれかの方法で納入してください。

◆ 教室の人数分をまとめて送金していただいても構いません。

その場合、どなたの分の会費を送金されたのかを、会計係へFAXなどで必ずご連絡ください。

☆会費を公費で負担してもらっている会員の皆様へお願い !!

※ 市、町、学校等に会費を負担していただける場合は、4月に発送した請求書を利用してください。

※ 送金の際には学校や施設名を送金欄に明記して下さるよう、関係機関の担当の方をお願いしてください。

会費の送付先

・ 銀行 北洋銀行北二十四条支店（普通） 0722320
北海道言語障害児教育研究協議会

・ 郵便振替口座 番号 02730-7-22194
北海道言語障害児教育研究協議会 事務局

庶務部会計係

札幌市立南郷小学校通級指導教室

TEL 011-863-0863

FAX 011-861-9527

どなたの会費かわからなくて困ることが
すごく多いんですって！
必ずわかるようにして下さいね！



おしらせ

「理事一覧」と「連絡先一覧」（事務局の各係）をアップロードしました。ご覧下さい。

「理事一覧」と「連絡先一覧」は、7月2日付けの発送で、印刷物としても教室に一部送付される予定です。

研修会・研究大会のご案内

☆第109回言語障害臨床研修会

研究部 研修係



- ・ 主 催 北海道言語障害児教育研究協議会
- ・ 共 催 NPO法人 ことばを育てる親の会北海道協議会
- ・ 日 時 2014（H26）年7月5日（土）9：30～15：00
- ・ 会 場 札幌市民ホール 第1会議室（定員65名／総額） 札幌市中央区北1条西1丁目
- ・ 内 容 講演と対談（フォーラム）（初心者から経験者向け）
講演1：伊藤 伸二 氏（大阪教育大学非常勤講師・日本吃音臨床研究会会長）
講演2：牧野 泰美 氏（国立特別支援教育総合研究所 教育研修・事業部総括研究員）
対 談：伊藤 伸二 氏 & 牧野 泰美 氏
- ・ テーマ 「子どもの幸せにつながる吃音臨床 ―ナリウ・アプローチの展開―」（予定）
- ・ 参加費 会 員 1,000円 ・ 会員外 2,000円
- ・ その他 会場の都合により、研修会での「保育」はございません。
- ・ 問い合わせ 研究部研修係 栗山中学校通級指導教室（言語・適応支援） 尾久邦彦

栗山中 TEL 0123-72-0269 / FAX 0123-72-5220

e-mail : kurichukotoba@yahoo.co.jp

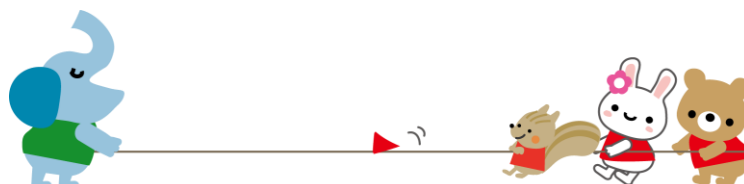
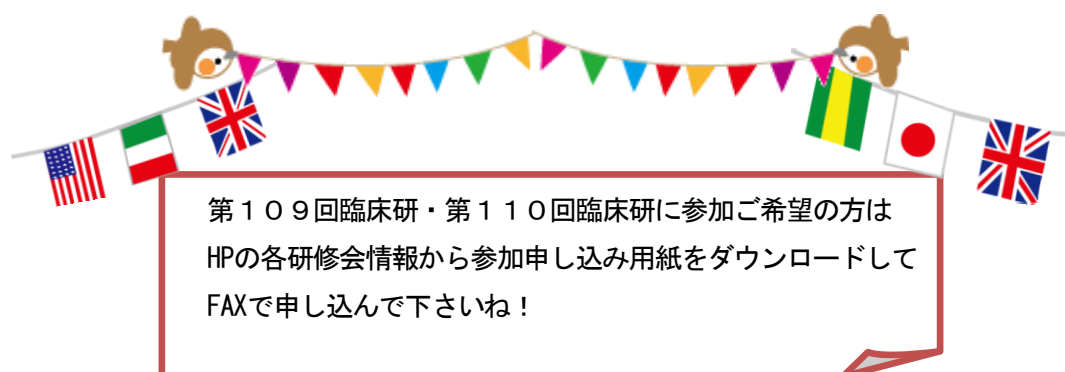
☆第 1 1 0 回言語障害臨床研修会（言難ABC）

- ・主 催 北海道言語障害児教育研究協議会
- ・日 時 2014年8月7日（木） 9：30～ 受付開始
10：00～16：30 研修会
8日（金） 9：30～16：30 研修会
- ・会 場 札幌市教育文化会館301号室 （定員110名／聴135名）
- ・参加対象 本協議会会員および希望者、特に経験年数の浅い（0～3年未満）担当者、または一人教室担当者。今年度は、全難言協からの要請で「はじめの一步」に参加できない他県担当者も受け入れます（定員：道内80名、他県30名）。
- ・内 容 経験の浅い担当者・一人教室の担当者を対象とした、言語・難聴教育の基礎基本についての研修会です。＜※毎年好評・盛況の研修会です。お早めにお申し込み下さい。＞



1日目（8／7）		2日目（8／8）	
9：30	受付開始	9：30～	③構音障害
9：50	オリエンテーション	（途中休憩10分）	
10：00～	①子どもの見方・	12：30	③構音障害
11：50	とらえ方		
12：50～	①子どもの見方・	13：30～	④吃音
14：20	とらえ方	（途中休憩10分）	
14：30～	②難 聴	16：30	④吃音
16：30			

- ・参加費 会員 1,500円 会員外 2,000円
- ・その他 会場の都合により、研修会での「保育」はございません。
- ・問い合わせ 研究部研修係 栗山中学校通級指導教室（言語・適応支援） 尾久邦彦
（第109回に同じ）



北海道言語障害児教育研究協議会 2014年度 役員

会 長	札幌市立青葉小学校長	羽 川 希 世 志	
副 会 長	札幌市立南月寒小学校長	中 井 早 江 子	
	函館市立中部小学校長	高 橋 政 弘	
監 査	札幌市立南郷小学校長	川 崎 真	
	札幌市立清田小学校長	高 村 誠	
理 事	渡島・檜山ブロック	函館市立中央小学校	佐 藤 光 博
	日高・胆振ブロック	白老町立白老小学校	長 野 雪
	石狩ブロック	江別市立中央小学校	秦 裕 美
	後志ブロック	小樽市立潮見台小学校	田 畑 牧 子
	札幌ブロック	札幌市立南郷小学校	石 川 早 苗
	空知ブロック	深川市立深川小学校	加 藤 綾
	十勝ブロック	帯広市立花園小学校	佐 藤 則 子
	釧路・根室ブロック	中標津町立中標津東小学校	鈴 木 敦 子
	上川ブロック	名寄市立豊西小学校	安 彦 修
	留萌・宗谷	留萌市立東光小学校	沢 口 眞 裕 美
	オホーツクブロック	網走市立中央小学校	高 川 康
研 究 部 部 長	栗山町立栗山中学校	尾 久 邦 彦	
〃 副部長	江別市立大麻東小学校	河 内 一 恵	
組 織 部 部 長	苫小牧市立苫小牧東小学校	泉 野 泰 人	
〃 副部長	小樽市立潮見台小学校	下 岡 直 正	
広 報 部 部 長	札幌市立真駒内桜山小学校	小 林 理 恵 子	
〃 副部長	上富良野町立上富良野小学校	川 田 昌 司	
庶 務 部 部 長	札幌市立南月寒小学校	安 達 陽 子	
〃 副部長	札幌市立南郷小学校	濱 崎 健	
事 務 局 長	札幌市立青葉小学校	三 坂 烈 慎	
事 務 局 次 長	札幌市立南郷小学校	一 條 くに子	
	札幌市立青葉小学校	松 澤 史 子	
	札幌市立南郷小学校	濱 崎 健	



道言協は

あなたの応援団！

